

科学技術振興調整費重要課題解決型研究
「セキュリティ情報の分析と共有システムの開発」
シンポジウムのご案内

文部科学省科学技術振興調整費によるプロジェクト「セキュリティ情報の分析と共有システムの開発」は、平成16年度より3年間の計画で実施されている研究開発プロジェクトで、産官学の連携の下、14の研究機関により、情報セキュリティインシデントへの横断的対応のための技術開発を行っています。

このたび、本プロジェクトの最終年度にあたり、3年間の研究成果の発表の場として、シンポジウムを開催することとなりましたので、ご案内いたします。

【開催概要】

日時：2007年3月19日(月)～3月20日(火)

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール

東京都港区三田2-15-45 TEL. 03-3453-4511(代)

<http://www.keio.ac.jp/access.html>

定員：200名(参加申込みの必要はございませんので、ご自由にご参加ください。)

参加費：無料

事務局：株式会社三菱総合研究所 情報セキュリティ研究グループ

牧野京子 makino@mri.co.jp

【プログラム】

別紙参照

科学技術振興調整費重要課題解決型研究
「セキュリティ情報の分析と共有システムの開発」
シンポジウム プログラム

当日のスケジュール、出演者等は予告なく変更することがございます。あらかじめご了承ください。

3月19日（月）

来賓挨拶:

10:00-10:05 堀内義規(文部科学省科学技術・学術政策局 調整企画室室長)

招待講演:

10:05-10:35 柴山悦哉(東京工業大学 大学院 情報理工学研究科教授)

基調講演:

10:35-11:05 徳田英幸(慶應義塾大学環境情報学部教授)

セッション1:

11:05-11:55 「ソフトウェア開発の指針」 Part1
座長:村瀬一郎(三菱総合研究所)

11:05-11:25 「セキュアソフトウェア開発の指針(仮題)」
村瀬一郎(三菱総合研究所)

11:25-11:35 「Webシステムの脆弱性分析法に関する研究」
高木浩光(産業技術総合研究所)

11:35-11:45 「ソースコード検査技術の脆弱性検出能力向上のための研究」
長谷川武(情報処理推進機構)

11:45-11:55 「ソースコードの静的解析に基づく脆弱性分析法に関する研究」
中村豪一(三菱総合研究所)

11:55-13:30 デモ・パネル展示

セッション2:

13:30-14:30 「ソフトウェア開発の指針」 Part2
座長:村瀬一郎(三菱総合研究所)

13:30-13:40 「組込みソフトウェアの耐タンパー性に関する研究」
松本勉(横浜国立大学)

13:40-13:50 「組込みソフトウェアのセキュリティ評価に関する研究」
山岸篤弘(情報処理推進機構)

13:50-14:00 「組込み向け耐タンパーソフトウェアの評価法および構成法に関する研究」
赤井健一郎(三菱総合研究所)

14:00-14:10 「フォーマルメソッドに基づくセキュアプロトコルの評価および設計指針に関する研究」
渡辺創(産業技術総合研究所)

14:10-14:20 「コンポーザビリティ概念に基づくセキュアプロトコルの評価に関する研究」
大塚玲(情報処理推進機構)

14:20-14:30 「認証プロトコル設計の安全性評価および設計指針策定に関する研究」
縫田光司(産業技術総合研究所)

14:30-14:40 休憩

セッション3:

14:40-15:30 「インターネット上の攻撃情報分析システム」 Part1
座長:村瀬一郎(三菱総合研究所)

14:40-15:00 「インシデント対応におけるマイクロ分析とマクロ分析の融合について(仮題)」
村瀬 一郎(三菱総合研究所)

15:00-15:10 「不正コード収集技術に関する研究」
高倉弘喜(京都大学)

15:10-15:20 「不正コード検出・解析技術に関する研究」
野川裕記(セキュアウェア)

15:20-15:30 「不正コード影響度分析、および対策技術に関する研究」
吉岡克成(情報通信研究機構)

15:30-16:20 デモ・パネル展示

セッション4:

16:20-17:10 「インターネット上の攻撃情報分析システム」 Part2
座長:村瀬一郎(三菱総合研究所)

16:20-16:30 「高精度トレースバック技術に関する研究」
門林雄基(奈良先端科学技術大学院大学)

16:30-16:40 「脆弱性管理技術」
奥田剛(奈良先端科学技術大学院大学)

16:40-16:50 「アプリケーション、実世界との関係技術に関する研究」
衛藤将史(情報通信研究機構)

16:50-17:00 「コンピュータウィルスの異常な振る舞いに基づく検出技術の実用化に関する研究」
森彰(産業技術総合研究所)

17:00-17:10 「接続属性に基づく異常検出方式の研究」
太田耕平(情報処理推進機構)

17:10-17:20 休憩

セッション5:

17:20-18:00 「インターネット上の攻撃情報分析システム」 Part3
座長:村瀬一郎(三菱総合研究所)

17:20-17:30 「ポートアクセス分析に基づく異常検出方式の研究」
石黒正輝(三菱総合研究所)

17:30-17:40 「脆弱性情報の収集・分析・流通・活用手法に関する研究」
中村章人(産業技術総合研究所)

17:40-17:50 「情報収集基盤および情報利用基盤に関する研究」
寺田真敏(情報処理推進機構)

17:50-18:00 「不正アクセス再現技術」
三輪信介(情報通信研究機構)

3月20日 (火)

セッション6:

10:00-11:20 「プライバシー保護システムアーキテクチャ」
座長 岡本栄司(筑波大学)

10:00-10:20 「プライバシー保護システムアーキテクチャ」
小松文子(日本電気)

10:20-10:30 「匿名署名技術」
岡本栄司(筑波大学)

10:30-10:40 「匿名署名の性能評価に関する研究と実装」
土井洋(情報セキュリティ大学院大学)、側高幸治(日本電気)

10:40-10:50 「情報隔離技術」
齊藤泰一(東京電機大学)

10:50-11:00 「匿名認証通信」
田村仁(東京大学)

11:00-11:10 「匿名性のあるIPモビリティ通信技術」
寺岡文男(慶應義塾大学)

11:10-11:20 「分散認証技術」
松本勉(横浜国立大学)

11:20-13:30 デモ・パネル展示

特別講演:

13:30-14:00 池上徹彦(文部科学省宇宙開発委員会委員/産業技術総合研究所特別顧問)

パネルディスカッション:

14:00-15:30 「研究成果の今後の展開および利活用」
モデレータ:村瀬一郎(三菱総合研究所)
パネラ:門林雄基(奈良先端科学技術大学院大学助教授)
高木浩光(産業技術総合研究所主任研究員)
高倉弘喜(京都大学助教授)
土井洋(情報セキュリティ大学院大学教授)
中尾康二(情報通信研究機構セキュリティ研究センター
インシデント対策グループグループリーダー)
野川裕記(セキュアウェア取締役)
松本勉(横浜国立大学教授)

15:30-15:45 休憩

パネルディスカッション:

15:45-17:30 「今後の情報セキュリティ研究開発の方向性」
モデレータ:徳田英幸(慶應義塾大学環境情報学部教授)
パネラ:岩下直行(日本銀行金融研究所 情報技術研究センター長)
木村道弘(Telecom-ISAC Japanステアリングコミッティ委員)
下村正洋(NPO日本ネットワークセキュリティ協会事務局長)
早貸淳子(JPCERTコーディネーションセンター常務理事)
三角育生(情報処理推進機構 セキュリティセンター長)
山口英(奈良先端科学技術大学院大学教授)